

発熱したお子さんを見守るポイント

こんな症状を 認めたらもう一度 受診しましょう



新型インフルエンザであっても、ほとんどのお子さんが季節性インフルエンザと同様に、3日から5日間発熱が続いた後に自然に治ります。しかし、まれに急性脳症、心筋炎、肺炎を合併したり、脱水を起こすことがあります。そこで、自宅で療養するときには、お子さんをひとりにせず、裏面に示すような症状に気をつけて、定期的に状態を見守るようにしましょう。

新型インフルエンザ症状チェックポイント



ある。

- ぼんやりしていて視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど、意識障害の症状がある。
- 意味不明なことを言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある。



顔色が悪い(土気色、青白い)。
唇が紫色をしている(チアノーゼ)。



呼吸が速く(1分間に60回以上)、
息苦しそうにしている。



ゼーゼーする、肩で呼吸をする、全身を使って
呼吸をするといった症状がある。



「呼吸が苦しい」、「胸が痛い」と訴える。



水分が取れず、半日以上おしっこが出ていない。



嘔吐や下痢が頻回にみられる。



元気がなく、ぐったりしている。

※ここに挙げた症状以外でも、いつもと様子が違って心配な場合には、
かかりつけの医師などの医療機関に相談してください。

●さらに詳しい情報については、ホームページをご参照ください。

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>
日本小児科学会 <http://www.jpeds.or.jp/influenza-j.html>